

11月度 例会 山行報告書		報告者	西尾隆宏	参加 メンバー	CL:吉田 SL:小田,亀山,西尾(記)
個人		報告日	11/27		
山域	中央アルプス	山行日	13年 11月9日(土)		
山名	空木、檜尾		-11月10日(日)前夜泊		

山行目的	紅葉、冬山合宿登山道の偵察	コースタイム(天候:天気図記号)
------	---------------	------------------

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



2.5万分の1地図:

11/9 晴

6:10 駐車場発
(林道終点)

7:05 遊歩道分岐

8:20 池山小屋

9:04 尻無

10:28 迷尾根

10:58 ヨナ沢の頭

12:00 避難小屋分岐

13:10 空木岳頂上

15:35 木曾殿山荘着



空木から木曾殿へ

11/10 霰 雪 雨(強風)

5:10 木曾殿山荘発

6:40 1本

7:50 熊沢岳

9:15 1本

9:50 檜尾岳

10:10 檜尾小屋

12:12 2100m 地点

14:26 檜尾橋バス停



檜尾岳山頂にて

山行報告 刈谷を出発し、駒ヶ根高原スキー場へ。林道終点まで車で入れた。翌朝、秋山らしい紅葉の中を歩く。途中遊歩道への分岐は池山に登るコースで行く。池山小屋の水場では流々と水が流れていたが、もう少し経つと凍結しそう。尻無からは鎖場があり、少し険しい。迷尾根手前のトラバースはアイスバーンになり、滑り落ちたら危険そうな斜面があった。ヨナ沢の頭では遊歩道を歩いてきたB隊と合流。遊歩道の方が近いよう。ここからは道がアイス状になっており、滑りやすかった。ほどなく雪の中を歩くようになり、空木岳頂上へ。そこから木曾殿山荘へ下る道は険しく、3箇所ほどビブリ箇所があった。木曾殿山荘の小屋はコの字型の床なためテントは張れず、小屋の傍に張った。夜は風が強く、風の音に度々起こされてしまった。翌日も風は強く、次第に霰となって歩きにくい。東川岳から檜尾岳までもビブリ箇所が多数あった。特に熊沢岳のくだりは、積雪期と違い険しい。今回は視界が効かなかったものの、雪はそれほど積もっていないためにルートが難なく確認できたが、冬合宿では心して歩きたい。檜尾小屋では、春山でお世話になった梅酒のお返しを置いた(写真)。檜尾小屋から少しでたところは少し登り返しがあり迷

いやすいので注意が必要。あとは檜尾橋まで長いくだり。斜面にある細い道にうんざりするが、コースタイム通りに歩いた。

(感想)メール件名の紅葉山行に誘われ、西尾は数ヶ月ぶりの山行参加。低気圧の接近のため思いがけぬ雪山登山となり、個人的には少ししょっぱい登山となってしまった。

フリースペース



お土産の梅酒

確認
(リーダー)
吉田
13/12/06
田

作成
(報告者)
西尾
13/11/27
尾

リーダー所見 木曾殿山荘から檜尾岳までの道中は強雨と霰に見舞われ、冬山合宿に向けての耐寒トレーニングとなった。また、滑落の危険箇所を3ヶ所確認でき、合宿に向けての準備すべきこと(岩場での登り降りのスキル向上、ロープワーク等)が見えてきた。全豊田雪上訓練等で準備して行きたい。